

ウサギを飼う準備①

ケージ編

ウサギを飼うにはケージが必要です。ペットショップで手に入るケージで十分です。ケージやその他必要なものを選ぶ際のポイントをいくつか挙げておきましょう。

1. 大きさ

大きいことに越したことはありません。ウサギを家に迎えるにあたって、許容できる範囲で出来るだけ大きいものを選びましょう。

一般的な長方形のケージの場合、短いほうの辺(一般的には奥行き)が、ウサギが体を曲げずに寝そべることの出来るぐらいの長さであることが必要です。

子ウサギから飼いはじめる場合は成長後のサイズを考えてケージを選びます。ウサギの系統によっておおよその体長は推定できますが、「ミニウサギ」「子ウサギ」として売られているウサギはいわゆる MIX 系で、体長が 30cm 以上になる個体も珍しくないので注意が必要です。体長 30cm のウサギだと奥行き 40～50cm くらいのケージが必要になります。

ワンポイント

寝そべっても大丈夫な長さ



2. 床

ウサギの飼育では、床は出来るだけ乾燥した状態を保つように心がけましょう。衛生とウサギの足への影響を考えるとプラスチックで出来たスノコ状の床が一番望ましいでしょう。

ウサギは足元がすべるところは嫌いなので全面プラスチックの床は不向きです。金網の床は足裏を痛めることがあります。木製のスノコは汚れが取れにくく、洗浄後に十分乾燥させないとカビや雑菌が繁殖して、皮膚炎や下痢などの原因にもなります。また、傷みやすいため、足の裏を傷めることもあります。木製のスノコを使うときは、複数枚用意して十分に乾燥したものを順番に使用する、古くなったものは捨てる、などに気をつけましょう。

ワンポイント

きれいで乾燥した床が好き。
プラスチック製のスノコがいいな。



3. 給水びん

給水びんを用意し、新鮮な水が自由に飲めるようにしてあげましょう。お皿に水を入れておくとひっくり返してしまい、水を飲めないばかりかケージ内の環境が悪化します。

給水びんの飲み口の高さは、頭を上げると届くぐらいが目安です。

ワンポイント

水交換のときは、給水びん設置後にちゃんと水が出るか確認してね。



4. トイレ

ウサギは決まった場所、多くの場合、ケージのすみに排泄する習性があります。一般的に販売されているウサギ用のトイレが三角形で、ケージのすみに設置するようになっているのもこのためです。

ケージの床がスノコ状になっていれば、トイレを必ず設置しなければならないわけではありませんが、トイレがないとケージ全体の掃除に手間がかかりますので、用意したほうがよいでしょう。

トイレの中に入れる尿吸収剤は、ウサギ用のものも販売されていますが、猫用の紙製トイレ砂でも、ペットシーツを折って使用してもよいです。いずれにしても、吸収剤をウサギが食べないように注意することが重要です。トイレの上のスノコ部分がはずれないようにしっかりと固定しましょう

ワンポイント

トイレの吸収剤を食べないように注意してね。



5. フードボール(えさ入れ)

ウサギはフードボールをひっくり返してしまうことがあるので、少し重量のあるものやケージに固定するタイプが安定してよいでしょう。チモシーなどの乾草を入れる容器は大きめのものが適しています。

ワンポイント

ひっくり返らないものにしてね。

